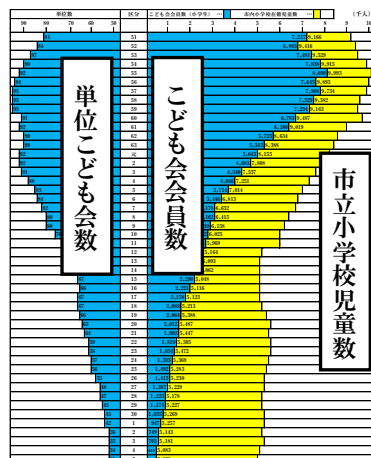


今だからこそこども会！



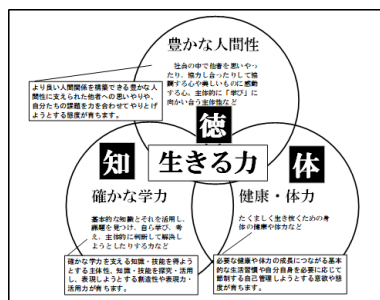
池田市のこども会は、長い間子どもたちの貴重なコミュニティとして機能してきました。しかし、昭和58（1983）年に80%を超えていた加入率は、単位の数の減少とともに大きく数を減らし、現在12%前後で推移しています。

池田市のこどもの数は、この20年ほどほぼ横ばいですが、こども会

の数が減少するとともに、池田の子どもたちの体験の場としてのこども会も大きくその数を減らしました。

子どもたちの豊かな育ちや、大きな災害が起こった時の防災・減災のためにも、今だからこそこども会のような地域のつながりを作っておくことが大切です。

こどもたちの手によるこども会活動の実現を！



活動を通して、子どもたちは、「生きる力」の基盤を育てることができます。

なぜなら子どもたちは、活動や遊びについての話し合いや試行錯誤を通して、自身の考えを話したり、友だち

の話を聞いたりします。その中で物事を多面的・多角的に見たり、感じたり、考えたりする経験ができるからです。

こども会の活動について、子どもたち自身で話し合い、計画を立て、実施し、ふり返っていきましょう。子どもたちの豊かな育ちのためにも、子どもたちの手によるこども会活動を実現していくことが大切です。

未来にはばたく子どもたちのために



池田市こども会育成連絡協議会

リーダーと連携し、負担の少ない活動を！

長くこども会を続けるためには、まず育成者が長く続けられる活動にすることが大切です。こども会は、存在する限り一生続けることができる活動ですから、役員経験者は地域のリーダーとしてこども会の活動に関わり、現役の役員など育成会を助けることが、地域の子どもの豊かな育ちの「場」を続けることにつながります。

また、池田市にはこども会リーダーの組織があり、行事の具体的な企画と運営方法については大幅に負担を減らすことができます。

「子どもたちのため」にこども会が活動を続けていくためには、まず「行事ありき」ではなく、まず担い手である育成者に無理が無く、また子どもたちに豊かな体験や経験をさせていくことがもっとも大きなポイントになります。

そのためにも、地域のリーダーやこども会リーダーの組織と連携し、育成者の活動の負担を減らし、活動の継続に努めていきましょう。

地域でつながり、防災・減災に努めましょう。

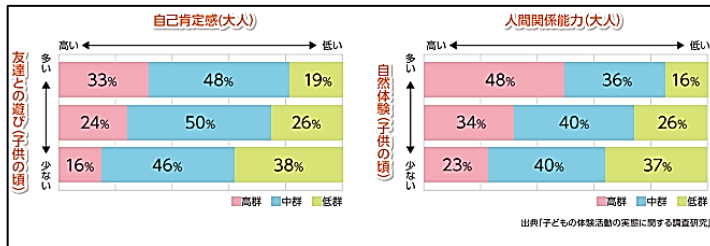
池田市のこども会活動では、防災の日になんだ「こどもSOS」などの取り組みなどで、災害時の行動について考え、防災・減災のための備えをすることができます。

地域でつながりを作っておく、ということは、所在を確認できる家庭の安否確認が迅速に行われやすい、ということであり、災害発生当初のひとりの目安となる、72時間までの減災においてはとても大切なことです。

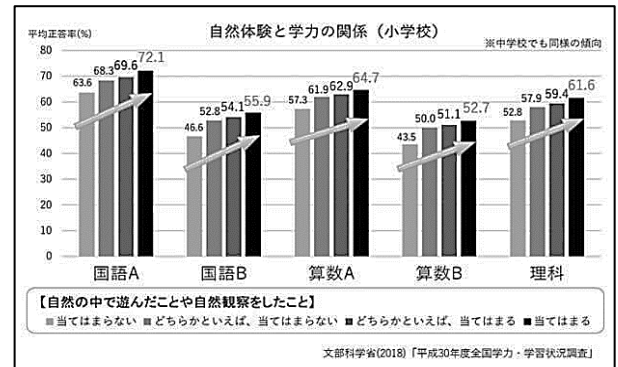
「備えあれば憂いなし」。防災や減災に100点満点の備えはなかなか実現が難しいものですが、こども会活動を通して地域でのつながりを作っておくことは、日ごろの備えを大きく充実させます。

防災・減災のために大切な「自助・共助・公助」を一体的に推進できるようにするためにも、活動を通してお互いを知り合い、交流することでつながりを日頃から作っておきましょう。そのことが、いざという時に、子どもたちを、また自分たちを助けてくれるかもしれません。

未来にはばたくこどもたちが、心豊かに育つ体験を！



▼豊かな体験は、子どもたちの健やかな成長をうながします▼



▼親睦ドッジボール大会



▼こども会1泊キャンプ



▼こどもSOS本部



▶みんなでカレーづくり 親睦かるた競技大会



こども会は、(財)大阪府こども会育成連合会の安全共済会に年間加入し、行事中の事故やケガへの備えにしています。池田市のこども会は、この加入に市から補助が出ており、安心して活動することができます。地域のこども会の連絡先やその他分からないことは、事務局（池田市教育委員会地域教育課内 ☎(072)754-6612）に連絡か、▼を検索。

池田市 こども会

検索